

千葉県八千代市新川沿川エリアにおける地域再生に関する研究
 —地域資源とその活用方策に着目して—

A Study on the City Revitalization in Shinkawa-area of Yachiyo City, Chiba Pref.
 -Focus on the local resources and utilization strategies-

○加藤彰太¹, 岡田智秀², 田島洋輔², 新橋一士³

*Shota Kato¹, Tomohide Okada², Yosuke Tajima², Kazushi Shimbashi³

Abstract: The purpose of this paper is to clarify the local resources and utilization strategies in Shinkawa-area of Yachiyo city, Chiba prefecture. As a result, it clarified local resources and their characteristics.

1. 研究目的; 千葉県八千代市新川沿川エリア (図1) では少子高齢・人口減少問題はもとより, 他地域への人口流出が顕在化する等, 地域再生の必要性が高まっている。しかし, そのビジョン構築にあたっては歴史・文化などの地域的価値や魅力を考慮することが地域再生の鍵¹⁾となるが, 当地区ではそうした地域的価値やその課題等は明らかになっていない。そこで本研究では, 新川沿川エリアにおける地域再生ビジョンの構築を目指して, 当該地域で展開される「新川を活かした川まちづくりワークショップ (以下; WS)」での住民意見や既存観光マップ等を対象に地域資源と活用方策を抽出し, 今後の地域再生方針について論究する。

2. 研究概要; 当地区では, 地域資源の発掘や活用方策, それに基づく地域再生ビジョンの構築を目的にWSが開催されており, 筆者らも参画している。これら地域資源の導出に当たり, 筆者らは全5回のWSプログラムを作成し, 現在までに3回を完了した (表1)。このWSおよび文献調査 (表2) より抽出された地域資源と活用方策を基に今後の地域再生方針を導出する。

3. 結果および考察; 表3はWSで抽出された地域資源と意見数, マップの記載状況, 主なWS意見等を示

したものである。以降では, これをもとにWSでの住民意見と既存マップとの関係性について考察する。

(1) 陸域; 1) 農地; 表3より, 「農地」に関するWS意見は全153件中21件と陸域で最も多く, その具体的意見は「レンタサイクルで様々な用途の農園 (バラ園・市民農園など) を観光してもらう」や「市民農園を開設したい」等の新たな活用方策が多数示された。これに対して, 既存マップでは5誌中2件の掲載に留まっていた。これらより, WS参加者が農地に多様な活用策を期待する一方, マップでは既存農地の美しさや魅力よりも生産農地としての認識の方が強い実態を捉えた。

2) ガキ大将の森; 表3より, 「ガキ大将の森」に関するWS意見は全153件中17件と陸域で2番目に多い。その具体的意見としては「市外の人に伝えたい」など地元の誇れる地域資源として評価されている (写真1)。また, 既存マップでも5誌中3件で掲載され, そのうち2件が写真やイラストを用いて紹介 (写真2) されるなど, マップにおいてもWS参加者と同様にその魅力が高く評価されている。さらに, 「バーベキューをしながらライブイベントを行う」等のWS意見も見られることから食事や音楽などの新たな価値を加えること

表1 WS概要 [筆者作成]

WS回数	場所	日時	参加者	内容	写真
第1回WS	やちよ農業交流センター	2019年6月24日 (月)	・日大生5名, 同教員1名 ・地元住民・企業, 新川流域自治体職員 44名	・プロジェクトの概要説明 ・八千代市の現状説明 ・新川流域自治体の川まちづくりへの取り組み紹介 ・フリートーク	第1回WSの様子
第2回WS	やちよ農業交流センター	2019年7月29日 (月)	・日大生7名, 同教員1名 ・地元住民・企業, 新川流域自治体職員 35名	・地域の魅力点・課題点の導出およびまち歩きコースの特徴の導出 ・新川活用案の検討	第2回WSの様子
第3回WS	エルムサロン ユアエルム八千代台店	2019年8月19日 (月)	・日大生5名, 同教員1名 ・地元住民・企業, 新川流域自治体職員 38名	・新川活用案の再検討 ・流域連携につながる活用案の検討 ・新川活用案の行動計画の検討	第3回WSの様子

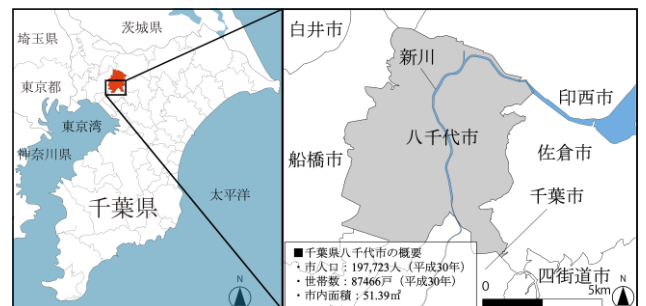


図1 研究対象地概要 [参考文献^{2)~3)}をもとに筆者作成]

表2 調査方法 [筆者作成]

調査項目	WS	文献
調査日時	2019年7月29日 (月) ~8月19日 (月)	2019年9月10日 (土) ~9月17日 (土)
調査対象	WS意見で特定できる地域資源について	八千代市が認識する新川沿川の観光マップおよびまち歩きマップ ^{4)~8)}
調査内容	WS2,3回で議論した地域資源「人に伝えたい・気になる, 課題, 活用案」の内容	WSより抽出した地域資源のマップへの記載状況の確認

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち 3: 日大理工・院 (前)・まち

表3 地域資源(場所ごとの)該当意見数および各マップ記載件数[参考文献^{4)~8)}をもとに筆者作成]

立地	NO.	WS意見・マップ記載状況	WS意見(件)	マップ					1.農地に関する主な意見 ・レンタサイクルで様々な用途の農園を観光してもらおう ・市民農園を開設したい 2.ガキ大将の森に関する主な意見 ・市外の人に伝えたい ・バーベキューをしながらライブイベントを行う 3.八千代市市民ギャラリーに関する主な意見 ・子供向け施設、イベントを取り入れたい ・子供が遊ぶ遊具を設けたい 16.新川遊歩道に関する主な意見 ・新川千本桜などの豊かな自然を活かした憩いの場をつくる ・両岸の雑草を改善したい 23.富士美橋に関する主な意見 ・橋上からの富士山が絶景である 25.新川に関する主な意見 ・カヤック, Eボート, SUP等水辺を活かした取り組みを行う ・穏やかな川の流しの特徴を活かしたスポーツをしたい	
				A	B	C	D	E		
陸域	1	農地	21	×	×	×	×	×	○	
	2	ガキ大将の森	17	○	×	×	×	×	×	
	3	八千代市市民ギャラリー	12	○	○	○	○	○	×	
	4	八千代市ほたるの里	9	×	×	×	×	×	○	
	5	八千代農業交流センター	4	×	×	×	×	×	○	
	6	八千代ふるさとステーション	4	○	○	○	○	○	×	
	7	米本神社	4	○	○	○	○	○	×	
	8	里山	4	×	×	×	×	×	○	
	9	七百餘所神社	4	○	○	○	○	○	×	
	10	御嶽神社	3	○	○	○	○	○	×	
	11	米本団地	3	○	○	○	○	○	×	
	12	八福神	1	×	×	×	×	×	○	
	13	少年自然の家	1	○	○	○	○	○	×	
	14	米本城跡	1	○	○	○	○	○	×	
	15	米本小学校	1	×	×	×	×	×	○	
計	15件	89								
河川敷	16	新川遊歩道	32	×	×	×	×	×	○	
	17	新川千本桜	5	○	○	○	○	○	×	
	18	水神宮	2	○	○	○	○	○	×	
	19	千本桜の会のメッセージ	1	×	×	×	×	×	○	
	20	花形状の風車	1	×	×	×	×	×	○	
	21	棧橋予定地	1	×	×	×	×	×	○	
計	6件	42								
橋	22	橋 22: 神尾橋	5	×	○	○	○	○	×	
	23	23: 富士美橋								
	24	24: 村上橋								
計	1件	5								
河川	25	新川	17	○	○	○	○	○	×	
計	1件	17								
合計	23件	153								

【凡例】 A:ぐるり八千代お散歩マップ B:里沼 Walking Map C:八千代ふるさと親子マップ D:八千代市あのみ町の町 E:八千代の自然・文化財11選
○:写真が掲載されている ○:名称・地図記号を用いて記載されている ×:記載なし □:本文記載事項

で、より魅力的な地域資源として活用すべきと考える。

3) 八千代市市民ギャラリー; 表3より、この施設は全153件中12件と陸域で3番目に多く、その意見は、「子供向け施設・イベントを取り入れたい」や「子供が遊ぶ遊具を設けたい」等の施設利用に関する要望がみられた。これは、当施設では普段利用されていない展示室が多数ある一方で、子供向けイベントが小ライブスペースのみで開催される点を地域住民が課題として認識したためといえよう。また、既存マップでは5誌中4件で掲載されるなど注目度は高い。これらより、当該施設は公共施設故に注目度は高く、その利用価値をより高めるには、子供利用の促進策が求められよう。

(2) 河川敷(新川遊歩道); 表3より、「新川遊歩道」のWS意見は全153件中32件と最も多く、その具体的な意見としては、「新川千本桜などの豊かな自然を活かした憩いの場をつくる」や「両岸の雑草を改善したい(写真3)」等、遊歩道の新たな活用策が示された。また、既存マップでは5誌中1件で新川千本桜を中心とした空間的魅力が写真付きで紹介されていた(写真4)。これらより、新川河川敷では地域資源である新川千本桜を活用した遊歩道整備の必要性が示唆された。

(3) 橋(富士美橋など); 表3より、橋に関する意見は153件中5件とそのすべてが河川橋であり、具体的

意見としては、「富士美橋の「橋上からの富士山が絶景である」などの景観的魅力が示された。しかし、既存マップ上では5誌中2件で名称のみの掲載に留まり、その景観的価値は表現されていない。このように、これまでマップには表現されてこなかった住民目線の眺望景観なども地域資源として活用すべきと考える。

(4) 河川(新川); 表3より、水面に関する意見は153件中17件とそのすべてが新川である。この具体的な意見は「カヤック, Eボート, SUPなど水辺を活かした取り組みを行う」であり、千葉市や佐倉市などの新川流域の地域間連携を期待したものである。既存マップ上では5誌中4件で名称のみの掲載に留まり、新川の空間的価値は表現されていない。このように、地域間を横断的につなぐ河川ならではの魅力は地域資源として積極的に活用と周知を図る必要があると考える。

以上より、本稿では新川沿川エリアの23件の地域資源とその活用方針を捉えた。今後は、こうした地域資源の見える化を図り、新川沿川の流域市町へ情報発信を進めていく方針である。

参考文献: 1) 佐々木一成:「観光振興と魅力あるまちづくり」, 学芸出版社, pp.198~210, 2008.1 / 2) 八千代市HP, <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/21004/page000019.html/> (最終閲覧日: 2019.9.22) / 3) 八千代市HP, <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/20500/page100020.html> (最終閲覧日: 2019.9.22) / 4) 八千代市立郷土資料館:「ぐるり八千代お散歩マップ」, 2017・2018 / 5) 千葉県:「里沼 Walking Map」, 2018.3 / 6) 八千代市:「八千代ふるさと親子マップ」, 2018.2 / 7) 八千代市郷土資料館:「八千代市あのみ町の町」, 2019.3 / 8) 八千代市郷土資料館:「八千代の自然・文化財11選」, 2019.3